

港中だより

伊勢市立港中学校 No.23

R3. 12. 21

校長 金森 晃生

人権学習月間

12月1日 伊勢市子ども人権フォーラム 21

1日（水）に伊勢市主催の人権フォーラム21が行われました。昨年度は中止になりましたが、今年度は集合型ではなく、オンラインで行われました。また、参加者もこれまでは各クラスから3人でしたが、今回は各クラス1人の代表となり、港中からは9人が参加しました。フォーラムは、市内中学校の代表として、2つの作文が発表され、それぞれに意見交換がなされました。港中は、9人全員が意見を述べました。

1つ目は「世界の人々が家族と考えれば、差別はなくなる」という作文でした。港中の意見は

- 家族以外の身近な人を、家族と思えるようになりたい。
- 遠い外国の人も身近な人と思いたい などでした。

自分の気持ち（意識）の持ち方で、差別はなくなるのではないかと考えてくれました。

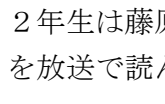
2つ目は「日本のオリンピック選手が金メダルを取れなかった時になぜ謝るのか」という作文でした。港中の意見は

- 外国の選手は、周りの人に感謝の言葉を述べるが、日本の選手は謝ることが多い。
- その人が努力した結果出場しているので、謝る必要はない。
- 私たちは褒めたたえ、尊敬すべき。結果だけがすべてではなく、その過程が重要。
- 自己肯定感が不足している。
- 報道の仕方にも問題がある などの意見が出されました。

2つの作文を聴いて、市内の中学生がいろいろな考え、思いを述べてくれました。参加者の人数が少ないことは残念でしたが、意見交換できたことはたいへん有意義でした。

12月8日 港中人権フォーラム

8日（水）に港中人権フォーラムを行いました。市のフォーラム参加の3年生が中心となり、各学年代表の3人が作文を読み、各学級で意見交換をしました。1年生は藤原佑真さんの「人権について」



2年生は藤原芯樹さんの「人権と共に。」3年生は木村梨乃さんの「私はわたし」を放送で読んでもらいました。作文に対する意見や考えや感じたことなどが発表され、さらに自分の悩みや思いを友だちに聴いてもらう場面もありました。一人ひとりが真剣に聴き、考え、思いを伝えることができた時間になりました。これからも、この時の想いを忘れずにいてください。

12月20日 港中人権講演会

20日（月）に人権講演会を行いました。講師先生は「にじいろ i-R u (アイル)」の田中一步さんと近藤孝子さ



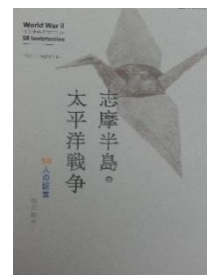
んでした。にじいろ i-Ru は、“セクシュアルマイノリティとされる子どもたちと、すべての子どもたちに「じぶん、まる！」”を伝えるために活動されている方々です。私は、自分は自分らしく生きること。外見で性別が決まるのではない。自分に嘘はつかず、他の人と違っていても、それが自分なんだ、ということが「じぶん、まる」だと感じました。みなさんはどう感じたでしょう。一人ひとりが感じたことを、これからの生き方につなげてほしいと思います。

生徒のみなさんの感想を少し掲載します。

- ・人はいろいろ感じ方が違って、自分と同じ価値観を持っているとは限らない。
- ・「女らしくしなさい」と言われたが、何が女らしいのか、また、性別は外見では決められないと感じた。
- ・私もこんなちゃんのように、誰かを支える存在になりたい。

平和を考える

先日、港中校区の大湊町にある「株式会社ゴーリキ」の会長（強力 修）さんをはじめ、4人の方が学校にお越しになり、本を寄贈していただきました。



みなさんは「第五福竜丸」という名前を聞いたことがありますか。「第五福竜丸」は、1954年3月1日に太平洋のマーシャル諸島（日本の南東：ミクロネシア）にあるビキニ環礁で、アメリカが行った水爆実験によって被害を受けました。1947年に和歌山県で建造され、カツオ漁船として活躍し、後にマグロ漁船に改造され、遠洋漁業に出ている被害にあいました。乗組員も被爆しました。その被害にあった船を、練習船として東京水産大学で使用できるように修理されたのが、大湊町にあるゴーリキ（旧強力造船所）さんです。強力さん（会長さん）は当時の様子や平和への願いを込めて、ご講演もされています。「第五福竜丸」は現在、東京にある「第五福竜丸展示館」にあり、核廃絶・反戦平和など平和への取り組みの象徴とされています。（さらに詳しいことは、ぜひ調べてみてください）そして、同じように平和を願い、様々な取り組みをされている、橋本理市さん（1968年から高校の先生をされていました）が、志摩地方の戦争を経験された方々の体験談を集めた「志摩半島の太平洋戦争」という本を出されました。この本を読んでもみると、伊勢に近い、志摩地域でも戦争の被害を多く受けていることがよくわかります。その本を港中学校に寄付していただきました。

図書館に置きますので、ぜひ読んでみてください。平和を願い、考える機会にしてください。また、身近に戦争を体験された人（戦争が終結して76年がたちます）があれば、ぜひ話を聞いてみてください。

～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、さらに各ご家庭でも検温、マスクの着用等、感染症予防対策にご協力いただきありがとうございます。

先日は、個別懇談会、ありがとうございました。限られた時間でしたが、学校とご家庭の情報交換をすることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

10月から学校が再開し、この2か月で多くの学校行事を行いました。保護者のみなさまにはそのたびに、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。この後、冬休みになりますが、これまで同様、子どもたちの安全と安心を守りながら、引き続き教育活動を行いたいと思います。

また、PTA活動につきましても、来年度に向けて、準備を進めてまいりますので、重ねてご協力をお願いいたします。